

平成29年度当初予算について

1 一般会計予算の概要

市長が掲げる「すべての市民が誇れるまち田川」の実現に向けた田川再生のための4本の柱「美しい街づくり」、「新産業の創出」、「教育改革」、「子育て支援」をさらに推進させるため、それらに関する新規事業や拡充事業を反映した田川市第5次総合計画に基づく事業などを計上している。

(1) 当初予算額

(単位：千円)

29年度当初	28,416,805
28年度当初	27,933,192
増減	483,613

※ 財源不足は、以下のとおり拡大。

28年度当初	→
812,852千円	

445,344千円増

29年度当初
1,258,196千円

(2) 当初予算（歳出）の主な内容

【新規又は拡充する事業】

- ・ 総合体育館の改修
- ・ 産業創出育成支援補助金の新設
- ・ 外国語指導助手の増員など英語教育の充実
- ・ 給付型奨学金の新設
- ・ 小中学校への電子黒板導入
- ・ 中学校完全給食の実施 など

【前年度に引き続き、実施する事業】

- ・ ボランティアセンター開設へ向けた取組み
- ・ オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致
- ・ ふるさと就職奨励金の支給
- ・ 正規雇用転換奨励金の支給
- ・ 学力向上に向けた取組み（陰山メソッド、小河式など）
- ・ 子育てクーポン券の支給 など

(3) 当初予算（歳入）の主な内容

各事業の財源となる国県支出金及び市債などを計上している。

また、ふるさと寄附金は前年度予算に比べ、100,000千円増額の200,000千円を見込んでいる。

(4) 繰越明許費

「子育てクーポン券支給事業費」及び「公園整備事業費」の2件を計上している。

(5) 債務負担行為

「出産祝金」や、U・Iターン者の移住・定住を奨励する「ふるさと就職奨励金」などの4件を計上している。

2 特別会計予算の概要

(1) 歳入歳出予算額

(単位：千円)

会計名	予算額		説明
国民健康保険 特別会計	29年度 当初	7,438,379	予算増の主な要因は、保険給付費及び高額医療費共同事業医療費拠出金の増である。近年、被保険者の平均年齢が上がっており、一人当たり医療費の増につながっている。
	28年度 当初	7,348,892	
	増減	89,487	
後期高齢者医 療特別会計	29年度 当初	719,196	予算増の主な要因は、保険料の軽減特例制度の段階的廃止に伴う、歳入の後期高齢者医療保険料の増である。
	28年度 当初	687,133	
	増減	32,063	
急患医療特別 会計	29年度 当初	183,669	予算増の主な要因は、X線撮影装置などの医療機器更新を予定していることである。
	28年度 当初	166,779	
	増減	16,890	
住宅新築資金 等貸付特別会 計	29年度 当初	29,603	予算減の主な要因は、本会計で支弁する職員数の減及び公債費の減である。市債の償還は随時終了しており、償還金も年々減少している。
	28年度 当初	38,599	
	増減	△8,996	
田川市等三線 沿線地域交通 体系整備事業 基金特別会計	29年度 当初	174,075	予算増の主な要因は、平成筑豊鉄道経営安定化補助金の増によるものである。
	28年度 当初	168,169	
	増減	5,906	